

臺灣同翅目の數種に就て

加 藤 正 世

Notes on some Formosan Homoptera, with descriptions
of new genus and species. by MASYO Kato.

臺灣産の同翅亞目に就きては既に内外多數の専門家に依りて研究せられたり。著者は多年此の類の採集に没頭して獲たる採集品中に、記録に漏れたるもの多少を發見したるを以て、茲に記して諸先輩の研究に追加せんとす。猶學名の訂正すべきものも併せて記録す。

Type specimen は總て著者の所藏に係はるものなり。

Family FULGORIDAE 白蠟蟲科

Subfamily FULGORINAE ピハハゴロモ亞科

Fulgora *watanabei* MATSUMURA

Fulgora watanabei, MATSUMURA, Ins. Jap. Add. I, p. 54, Pl. 8, f. 1 (1913)

Fulgora chimara, SCHUMACHER, Suppl. Ent. IV, p. 129 (1915.)

var. *apicalis* var. nov. (Pl. fig. 1.)

ツマグロピハハゴロモ (新稱)

原種と異なる點は後翅の先端約四分の一が原種の乳白色なるに對し黒色を呈するにあり。體は多少青味を帶ぶ。

產地、埔里。

附記。*Fulgora watanabei* (ワタナベピハハゴロモ) はナンキンハゼ (*Sapium sebiferum* Roxb.) に棲息す。八九月頃臺北州新店に於て同樹の樹幹に採集するを得。

Subfamily LOPHOPINAE ひらあしうんか亞科

Elasmoscelis Platypoda KIRBY

Elasmoscelis platypoda, KIRBY J. Linn. Soc. Zool. XXIV, p. 148, Pl. VI, f. 3 (1891.)var. *formosana* var. nov. (Pl. IX, fig. 2)

原種と異なる點は、前翅淡暗褐色にして夥しき乳白紋を散在するにあり。

產地。嘉義郡竹崎庄金獅寮。八月。

禾本科植物に寄生す。

Family MEMBRACIDAE 角蟬科

Subfamily CENTROTINAE ツノゼミ亞科

Elaphiceps cervus BACKTON. (Pl. IX, figs. 8a, b, c.)

シカツノゼミ (新脩)

Elaphiceps cervus BACKTON Mon. Memb. p. 217, Pl. 48, f. 4, 4a. (1903).

大形種。前胸背は中央部に於て著しく上方に凸出し、角状突起と後部突起とを出す。角状突起は細く先端は鋭く、約 130 度をなして前突出すればとも略中央に於て一枝を前方に出し、主角はへ字状に後方に彎曲す。前方より見る時は恰もバラソル状を呈す。後部突起は更に細く、角状突起と同點より斜後に發し、先端は前翅の内縁角に達す。體黒褐色、金色の短毛を密生す。頭部は著しく下方を向き、複眼間の幅は長さ(額片を含む)よりも少しく廣し、複眼は小、單眼は複眼の後縁を連ねる線より僅か下方に位し、單眼間の幅は複眼より各單眼に至る間隔よりも僅かに廣し。額片は其長さ幅より僅かに長く、先端丸く又其長さは頭頂の長さに等し。頭部の後縁は著しく後方に彎曲し且つ隆起す。角状突起及後部突起は黒褐色にして何れも中央に一隆條を有す。後者は更に兩側に二縱條を具ふ。小楯板は細長き二等邊三角形にして基部に近く金色の短毛を甚しく密生す。前翅は濃褐色不透明にして周縁は更に濃色、翅脈は淡褐、各翅脈間に淡色の多數の斑紋を有し、其の各より金色の短毛を生ず。翅端室は四個なり。體下及び肢は淡黒褐色、胸側には金色、腹

下には灰色の短毛を密生す。口吻は先端第一腹節に達す。體長 10 m.m. 角狀突起間の幅 8.5mm.

本種は支那よりもと記録せられたるものなれども、予は恒春(クスクス)に於て一雌を得たり、稀種に屬す。

Genus **Formocentrus** gen. nov.

Generic type. *Formocentrus typicus* sp. nov.

前胸背上に縱隆線及多數の點刻あり。後部突起は短細、三縱隆線を具へ。胸楯板の上方に於て彎曲し、先端は腹背の中央に達す。角狀突起は巖丈にして斜上方に突出し、先端は裁斷狀に終る。胸楯板の長さは幅と同長なり。前翅は中央に於て最も幅廣く、先端は銳角をなす。前翅は五、後翅は四個の翅端室を有す。

此屬は Division Leptocentraria に屬し、*Indicopleustes* DISTANT に近きも前胸の後部突起短し。

Formocentrus typicus sp. nov. (Pl. IX, figs. 6, 6a, 6b)

ミミナガツノゼミ (新稱)

體下、頭部、前胸及び肢は汚黃褐色、頭部(額片を除き)及び前胸の後部は濃色、黃褐色の短毛を以て密に覆はる。前胸に大小多様の點刻あり。跗節の先端は多少褐色。前翅淡褐、基半部は僅かに濃色、半透明、翅脈は薺色。角狀突起は幅廣く長し、先端は基部よりも僅かに狭く、裁斷狀に終る。此の裁斷部の爲す前緣角は圓く、後緣角は略直角に近し。後部突起は短かく、胸楯板の上方に於て彎曲し、先端は基部よりも幅廣く。三條の縱隆線を有し、中央のものは黃褐色なり。基部の兩側に金色の長毛を裝ふ。胸楯板の後縁は、形に深く剗らる。體長(後翅を含む) 9mm. 角狀突起の幅 4.5mm

產地。阿里山。能高山。

Indicopleustes fuscomaculatus sp. nov. (Pl. IX, figs. 5, 5a, 5b)

ユミガタツノゼミ (新稱)

顔面及び前胸は暗褐色、疏に金色の短毛を表す。角状突起は長く棘状をなし尖端は鋭く尖る。後部突起はまだ細長にして、基半部は胸楯板の上方に於て急に弧状に彎曲し、中央部は殆ど腹背に接すれども、後半は再び上方に彎曲して先端は體を離る。顔面(額片を除く)及び胸下の兩側は白色、吻及び肢は褐色、脛節及び跗節の先端は多少暗色。前翅は淡褐色にして半透明光澤あり、基部は多少不透明、翅脈は暗褐色、基部及び第一第二翅端室の中央部及び基部に不明瞭なる暗色紋を表す。體長(翅を含む)7mm. 角状突起間の幅3mm.

產地、阿里山。

Pantaleon dorsalis MATSUMURA (Pl. IX, figs. 7, 7a, 7b)

セグカツノセミ (松村)

Centrotus, dorsalis, MATSUMURA, Cicad. Jap. II, p. 18. (1912)

Pantaleon dorsalis, FUNKII, Bull. Brook. Ent. Soc. XVI, 2, p. 47. (1921)

Pantaleon brunneus, FUNKII, Bull. Brook. Ent. Soc. XVI, p. 45, f. 5. (1921)

產地。埔里、阿里山、新竹、臺北。支那。

著者は度々クワに於て捕獲せり、多分同植物を食するものならん。

Family CERCOPIDAE 沢吹蟲科

Subfamily CERCOPINAE コガシラアハフキ亞科

Cosmoscarta fuscoapicalis sp. nov. (Pl. IX, fig. 4)

サウザンコガシラアハフキ (新稱)

體及肢は淡黃褐色、複眼黑色、前胸背に四箇の黒紋を有し、前縁にあるものは小、中央のものは大にして略楔状を呈す。各腹節の前縁は褐色、胸楯板は黑色、腹部下面の兩側に在る二列の縦紋及び跗節は暗色。前翅は淡褐色半透明、翅端附近は褐色、基部より約三分の一附近に三個の黒紋あり。前縁室上のものは最も小、臀室の中央のものは最大、他のものは位置大きさ共に兩者の中間に位す。其の他に甚だ不明瞭なる暗色紋あり、一個は前縁室の中央に、

他は前翅の略中央に存す。後翅は透明、翅脈は黄褐。體長（前翅を除き）13 mm. 開張 32mm.

本種はゴマフコガシラアハフキ (*C. bispecularis* WHITE = *C. formosana* MATSUMURA) に酷似すれども、大にして且つ色彩及前翅の斑紋等に依りて區別し得べし。

產地。臺北州七星郡草山。五月。

Cosmoscarta dorsimacula WALKER

オホゴマフコガシラアハフキ (新稱)

Cercopis dorsimacula, WALKER, List Hom. III, p. 658 (1851)

Cosmoscarta dorsimacula, BUTLER Cist. Ent. I, p. 259 (1874); DISTANT, Faun. Brit. Ind. Rhynch. IV, p. 147, fig. 104 (1908).

Cercopis quadrimaculata, WALKER, List. Hom. III, p. 661 (1851).

大形種。體朱色、頭部著しく小形にして、前半は半球狀に膨大し、其の下方は短かき口吻を有す、頭頂板は略正方形にして、其兩邊に接して淡黃色の單眼を有す。單眼は複眼の後緣を連ねる線よりも少しく前方に位し、單眼間の幅は複眼より單眼に至る幅よりも狭し。後緣は略直線を爲し、兩側に一對の黒點を裝ふ。中胸背は著しく大にして弧線より菱形をなし半球狀に膨起す。中央に刺然せざる一縱條を具へ、周緣は上反す、總體に淺き點刻を密布す。前緣に接して一對の圓き凹部を有し、此の部分及び中央に横列する二個の卵形紋は黑色なり。胸楯板は小にして細き二等邊三角形。前翅の約四分の一程先端は暗褐色、中央部及び基部に近く三個宛の大なる黑褐紋を横列す。體下は黒褐色。肢及び口吻は赤褐色。口吻は短かくして肢の基部に達せず。體長（翅端まで）18mm。

本種は印度地方には普通なれども臺灣には稀にして著者の初めて埔里（舊稱埔里社）附近に獲たるものなり。

產地。臺灣（埔里）。印度（アサム、ダアジリン）。

Cosmoscarta uchidae MATSUMURA*C. uchidae*, MATS., Hem. Faun. Riukiu, pp. 18. 30. Pl. I, fig. 4 (1905)var. *ratonis* var. nov.

前翅の電光状紋、肢及び生殖器等は橙黄色を呈す。原種にては紅色なり。
予は太平山に於て多數の個體を探集したるが何れも本形に屬するものなり。

產地、臺北州羅東郡太平山。

Cosmoscarta kotoensis sp. nov.

コウトウコガシラアハフキ (新稱)

本種は斑紋其の他 *C. uchidae* MATSUMURA に酷似すれども遙かに小形。前胸はその長さよりも幅廣く、後縁角の兩邊は僅かに内方へ彎曲す。體黒紫色、胸下、肢、生殖器及び前翅の電光紋は赤褐或は黃褐色なり。體長(翅を除き) 8mm 開張 21mm。

產地。紅頭嶼。

Cosmoscarta rubroscutellata MATSUMURA*C. rubroscutellata*, MATS., Cicad. Jap. p. 105 (1907)ab. *ater* nov.

前翅は光澤ある黒色。全く斑紋を缺く。

產地。新高山。

Family JASSIDAE

浮塵子科

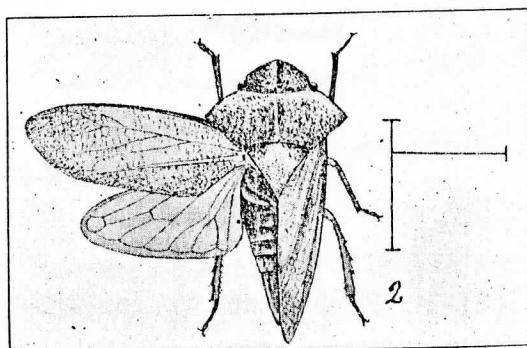
Subfamily LEDRINAE

ミミヅク亞科

Tituria angulata

MATSUMURA (fig.2)

ヒラタミミヅク (松村)



第一圖 ヒラタミミヅク

Petaloccephala angulata, MATSUMURA, Ann. Zool. Jap. VIII, p. 32 (1912)

產地。恒春、埔里、坪林尾、臺北、烏來、

Subfamily GYPONINAE ヒラタヨコバイ亞科

Ahenobarbus assamensis DISTANT. (fig. 1)

Ahenobarbus assamensis, DISTANT Faun. Brit. Ind. Rhynch., VII, p. 28, fig. 12 (1918)

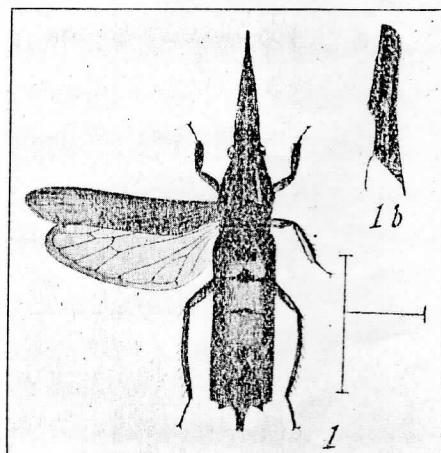
ヤリヨコバイ (新種)

本種は甚だ奇なる形態にして、頭部は長く前方に突出し、其の長さ複眼間の幅の六倍に等しく、先端は徐々に細まり、兩側に不規則なる低き突起を有し、三分の二程前方に剃刀の刃の如き高き縦突起を具ふ、體褐色。複眼黑色。單眼は複眼の前縁を連ねる線上にありて黒褐色、著しく突出し、複眼に接近す。複眼間に黒色の二縦條を有し、前方に於て略相接す。中胸背の長さは後縁の幅と等しく、後縁の中央は鈍角三角形に割られ、中央に判然せざる濃色の幅廣き一縦條を裝ふ。胸楯板は先端尖り、黒褐色にして先端のみ淡黃色なり。腹部は長方形、尾節は裁断状に終り兩側に各一個の後方に向ふ短き刺を有す。濃褐色にして第一節及び第二第三兩節の後縁は天鵝絨様の黒色、第三第四兩節の中央は草色を呈す。

前翅は細く褐色にして先端三分の一は淡し、翅脈は隆起す。後翅は透明にして黒味を帶び、外縁は暗色なり。體下蔚色。前肢脛節は幅廣くして平たし。後肢の脛節は甚だ長く、外方に十個の刺を有す。體長(前翅を除き) 17 mm. 開張 19 mm.

本種は印度より記録せられしたものにして臺灣にては稀なり。

產地。嘉義郡竹崎庄大坑山。埔里。



第二圖 ヤリヨコバイ

Balala formosana sp. nov. (pl. IX, fig. 3)

トビイロコガシラヨコバイ (新種)

體及び肢は淡褐色。胸楯板の先端三分の一は黃褐色。全體に厚く金色の短毛を以て覆はる。胸下及び腹下は灰褐色、顔面に幅廣き暗色の一紋を裝ふ。前翅は僅かに體より濃色、中央部最も濃く、翅端は幅廣く淡色、殆んど半透明なり。體長(翅端まで) 14mm.

本種は *B. fulviventris* WALKER に酷似す。

產地。恆春(クスクス社)。

第九圖版 說明

1. *Fulgora watunabei* MATSUMURA var. *apicalis* KATO var. nov.
2. *Elasmocelis platypoda* KIRBY var. *formosana* KATO var. nov.
3. *Balala formosana* KATO sp. nov.
4. *Cosmoscarta fuscoapicalis* KATO sp. nov.
5. *Indicopleurus fuscomaculatus* KATO sp. nov.
6. *Formocentrus typicus* KATO sp. nov.
7. *Pantaleon dorsalis* MATSUMURA.
8. *Elaphiceps cervus* BUCKTON.

第九圖版

Plate IX

